

環境研究総合推進費の変遷(平成21年度～平成25年度)

I. 新規課題の公募

I-1. 目的

	平成22年度新規課題公募 (平成21年度)	平成23年度新規課題公募 (平成22年度)	平成24年度新規課題公募 (平成23年度)	平成25年度新規課題公募 (平成24年度)	平成26年度新規課題公募 (平成25年度)
地球環境研究総合推進費	オゾン層の破壊や地球温暖化など、数々の地球環境問題を解決に導くための政策へ、研究活動による科学的知見の集積や科学的側面からの支援等を通じて、貢献・反映を図る。	地球温暖化の防止や自然共生型社会の実現など、持続可能な社会構築のための数々の環境問題を解決に導くための政策へ、調査研究による科学的知見の集積や環境分野の技術開発等を通じ、貢献・反映を図る。			
環境研究・技術開発推進費	持続可能な社会を構築するための自然共生型社会又は安全・安心で質の高い社会の実現を目指した環境分野の研究・技術開発について、広く産学官などの英知を活用した研究開発の提案を募り、優秀な提案のあった応募者が所属する試験研究機関等に当該研究開発を委託して実施することにより、研究開発の推進を図る。		地球温暖化の防止や自然共生型社会の実現など、持続可能な社会構築のための数々の環境問題を解決に導くための政策へ、調査研究による科学的知見の集積や環境分野の技術開発等を通じ、貢献・反映を図る。	調査研究による科学的知見の集積や環境分野の技術開発等を通じ、地球温暖化の防止や自然共生型社会の実現など、持続可能な社会構築のための数々の環境問題を解決に導くための政策への貢献・反映を図る。	調査研究による科学的知見の集積や環境分野の技術開発等を通じ、地球温暖化の防止、循環型社会の実現、自然環境との共生、環境リスク管理等による安全確保など、持続可能な社会構築のための数々の環境問題を解決に導くための政策への貢献・反映を図る。
循環型社会形成科学研究費補助金	廃棄物の処理等に係る科学技術に関する研究を促進し、もって廃棄物の安全かつ適正な処理、循環型社会の形成の推進等に関する行政施策の推進及び技術水準の向上を図る。	廃棄物の処理等に係る科学技術に関する研究を促進し、もって廃棄物の安全かつ適正な処理、循環型社会の形成の推進等に関する行政施策の推進及び技術水準の向上を図る。			
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業	循環型社会の形成の推進及び廃棄物に係る諸問題の解決に資する次世代の廃棄物処理技術に関する基盤を整備することにより、当該廃棄物処理技術の導入を促進し、廃棄物の適正な処理の推進を図る。	循環型社会の形成の推進及び廃棄物に係る諸問題の解決に資する次世代の廃棄物処理技術に関する基盤を整備することにより、当該廃棄物処理技術の導入を促進し、廃棄物の適正な処理の推進を図る。			

I-2. 公募区分

	平成22年度新規課題公募 (平成21年度)	平成23年度新規課題公募 (平成22年度)	平成24年度新規課題公募 (平成23年度)	平成25年度新規課題公募 (平成24年度)	平成26年度新規課題公募 (平成25年度)
地球環境研究総合推進費	1. 戦略的研究開発領域 (S-8) 2. 5億円程度 2. 地球環境問題対応型研究 領域 (1千万円～1億円) 3. 地球環境研究革新型研究 領域 (百万円～1千万円) 4. 国際交流研究(EFF)	1. 戦略的研究開発領域 (S-9) 3億円程度 2. 環境問題対応型研究領域 (1億円以内) 【特別枠】 (1)地域連携枠 (2)低炭素社会早期達成 枠 (3)領域横断枠 3. 革新型研究開発領域 (若手枠、統合評価枠) (1千万円以内) 4. 課題調査型研究領域 (新規公募なし) 5. 国際交流研究 (新規公募なし)	1. 戦略的研究開発領域 (S-10) 3億円程度 2. 環境問題対応型研究領域 (5千万円以内) 3. 革新型研究開発領域 (若手枠、統合評価枠) (1千万円以内) 4. 課題調査型研究領域 (環境省設定) (1千万円以内)	1. 戦略的研究開発領域 (S-11) 1.6億円程度 2. 環境問題対応型研究領 域 (5千万円以内) 3. 革新型研究開発領域 (若手枠、統合評価枠) (1千万円以内) 4. 課題調査型研究領域 (1千万円以内)	1. 戦略的研究開発領域 (S-12、S-13) 2億円、1.6億円程度 2. 環境問題対応型研究領 域 (5千万円以内) 3. 革新型研究開発領域 (若手枠、統合評価枠) (1千万円以内) 4. 課題調査型研究領域 (1千万円以内)
環境研究・技術開発推進費	1. 戦略一般研究 【特別枠】 (25百万円以内) (1)地域枠 (2)若手研究枠 (4百万円以内) (3)統合的・総合的研究枠 (4)環境ナノテクノロジー 研究枠 2. 戦略指定研究 (40百万円以内)	3. 革新型研究開発領域 (若手枠、統合評価枠) (1千万円以内) 4. 課題調査型研究領域 (新規公募なし) 5. 国際交流研究 (新規公募なし)			
循環型社会形成科学研究 費補助金	(補助率10/10) 1. 重点テーマ研究 (特別枠を含む) 2. 一般テーマ研究 3. 地域連携型研究 4. 若手育成型研究 (※継続課題も応募が必要)	(補助率10/10) (補助交付額1億円以内。若 手枠は1千万円以内) 1. 重点テーマ研究 (特別枠を含む) 2. 一般テーマ研究 3. 地域連携型研究 4. 若手育成型研究 (※継続課題も応募が必要)	【研究事業】 補助率10/10 (補助交付額1億円以内。若手 枠は1千万円以内) 1. 重点テーマ研究 (特別枠を含む) 2. 一般テーマ研究 3. 地域連携型研究 4. 若手育成型研究	【研究事業】 補助率10/10 (補助交付額1億円以内。若 手枠は1千万円以内) 1. 優先テーマ研究 2. 一般テーマ研究 3. 地域連携型研究 4. 若手育成型研究	【研究事業】 補助率10/10 (補助交付額1億円以内。若 手枠は1千万円以内) 1. 優先テーマ研究 2. 一般テーマ研究 3. 地域連携型研究 4. 若手育成型研究
次世代循環型社会形成推 進技術基盤整備事業	(補助率1/2) 1. 重点テーマ 2. 一般テーマ	(補助率1/2) (補助交付額3億円以内) 1. 重点テーマ 2. 一般テーマ	【次世代事業】 補助率1/2 (補助交付額3億円以内) 1. 重点テーマ 2. 一般テーマ	【次世代事業】 補助率1/2 (補助交付額3億円以内) 1. 優先テーマ 2. 一般テーマ	【次世代事業】 補助率1/2 (補助交付額3億円以内) 1. 優先テーマ 2. 一般テーマ

I-3. 公募対象分野

	平成22年度新規課題公募 (平成21年度)	平成23年度新規課題公募 (平成22年度)	平成24年度新規課題公募 (平成23年度)	平成25年度新規課題公募 (平成24年度)	平成26年度新規課題公募 (平成25年度)
地球環境研究総合推進費	○戦略研究プロジェクトS-8 ○問題対応型研究領域 (1) 全球システム変動 (2) 越境汚染(大気・陸域・海域・国際河川) (3) 広域的な生態系保全・再生 (4) 持続可能な社会・政策研究	戦略研究プロジェクトS-9 全球システム変動 (第1研究分科会) 生態系保全と再生 (第4研究分科会) 持続可能な社会・政策研究 (第5研究分科会)	戦略研究プロジェクトS-10 全球システム変動 (第1研究分科会) 生態系保全と再生 (第4研究分科会) 持続可能な社会・政策研究 (第5研究分科会)	戦略研究プロジェクトS-11 全球システム変動 (第1研究分科会) 生態系保全と再生 (第4研究分科会) 持続可能な社会・政策研究 (第5研究分科会)	戦略研究プロジェクトS-12 脱温暖化社会部会 (第2部会) 自然共生型社会部会
環境研究・技術開発推進費	○戦略一般研究開発領域 ①大気・都市環境 ②水・土壌環境 ③自然環境 ④リスク管理 ⑤健康リスク評価 ○戦略指定研究開発領域 ①風力発電等による低周波音の人への影響評価に関する研究 ②環境中の化学物質等による小児の健康への影響におけるメカニズム解明に関する研究	環境汚染(大気・水・土壌) (第2研究分科会) リスク管理・健康リスク (第3研究分科会) 領域横断研究 (第6研究分科会)	環境汚染(大気・水・土壌) (第2研究分科会) リスク管理・健康リスク (第3研究分科会) 領域横断研究 (第6研究分科会) ※行政ニーズの中に特別重点課題として「東日本大震災からの復興に対する環境研究・技術開発からの貢献」を掲出 → 『復興枠』	環境汚染(大気・水・土壌) (第2研究分科会) リスク管理・健康リスク (第3研究分科会) 領域横断研究 (第6研究分科会)	戦略研究プロジェクトS-13 全領域共通・領域横断部会 (第1部会) 安全が確保される社会部会 (第5部会)
循環型社会形成科学研究費補助金	(1) 廃棄物処理に伴う有害化学物質対策研究 (2) 廃棄物適正処理研究 (3) 循環型社会構築技術研究 ※特別枠(レアメタル回収技術)及び重点テーマを5テーマ設定	(1) 廃棄物処理に伴う有害化学物質対策研究 (2) 廃棄物適正処理研究 (3) 循環型社会構築技術研究 ※特別枠(レアメタル回収技術)及び重点テーマを4テーマ設定	(1) 廃棄物処理に伴う有害化学物質対策研究 (2) 廃棄物適正処理研究 (3) 循環型社会構築技術研究 ※特別枠(災害廃棄物処理技術・システム)及び重点テーマを4テーマ設定	循環型社会形成の推進及び廃棄物に係る問題解決に資する研究・技術開発 (第7研究分科会) 「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」の中の関連重点課題を掲出	循環型社会部会 (第3部会) 「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」の中の関連重点課題を掲出
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業	(1) 廃棄物適正処理技術 (2) 廃棄物リサイクル技術 (3) 循環型社会構築技術 ※重点テーマを3テーマ設定	(1) 廃棄物適正処理技術 (2) 廃棄物リサイクル技術 (3) 循環型社会構築技術 ※重点テーマを3テーマ設定	(1) 廃棄物適正処理技術 (2) 廃棄物リサイクル技術 (3) 循環型社会構築技術 ※重点テーマを3テーマ設定	※優先課題を「研究事業」については4テーマ、「次世代事業」については3テーマ設定	※優先課題を「研究事業」、「次世代事業」については、それぞれ4テーマ設定

I-4. 行政ニーズ

	平成22年度新規課題公募 (平成21年度)	平成23年度新規課題公募 (平成22年度)	平成24年度新規課題公募 (平成23年度)	平成25年度新規課題公募 (平成24年度)	平成26年度新規課題公募 (平成25年度)
地球環境研究総合推進費	公募要領の添付資料として、環境省が重点的に募集する必要があると考えている研究例として、『平成22年度新規課題の公募方針』を提示	「公募する研究の対象分野」に推進戦略に合い欧する重点課題を提示している。 また、公募要領の添付資料として、環境省が重点的に募集する必要があると考えている研究例として、『環境問題対応型研究・革新型研究開発の公募における行政ニーズについて』を提示	「公募する研究の対象分野」に推進戦略に合い欧する重点課題を提示している。 また、公募要領の添付資料として、環境省が重点的に募集する必要があると考えている研究例として、『平成24年度新規課題に対する行政ニーズについて』(「環境研究・環境技術開発の推進戦略」から引用するとともに、個別研究開発テーマを提示している。)を提示	「公募する研究の対象分野」に推進戦略に合い欧する重点課題を提示している。 また、公募要領の添付資料として、環境省が重点的に募集する必要があると考えている研究例として、『平成25年度新規課題に対する行政ニーズについて』(「環境研究・環境技術開発の推進戦略」から引用するとともに、個別研究開発テーマを提示している。)を提示	「公募する研究の対象分野」に推進戦略に合い欧する重点課題を提示している。 また、公募要領の添付資料として、環境省が重点的に募集する必要があると考えている研究例として、『平成26年度新規課題に対する行政ニーズについて』(「環境研究・環境技術開発の推進戦略」から引用するとともに、個別研究開発テーマを提示している。)を提示
環境研究・技術開発推進費	戦略一般研究開発領域において募集する研究分野として、「環境研究・環境技術開発の推進戦略の実施方針の総括フォローアップ結果」において、取組の強化等を図ることが必要とされている環境研究・技術開発を引用して、一部に下線を引いて優先課題としている。				
循環型社会形成科学研究費補助金			※個別研究開発テーマについては、関係部局から募集し、各研究分科会でのとりまとめ、企画委員会の了承を得たうえで提示している。	※個別研究開発テーマについては、関係部局から募集し、各研究分科会でのとりまとめ、企画委員会の了承を得たうえで提示している。	※個別研究開発テーマについては、関係部局から募集し、各研究分科会でのとりまとめ、企画委員会の了承を得たうえで提示している。
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業					

I-5. 新規課題の採択方法

	平成22年度新規課題公募 (平成21年度)	平成23年度新規課題公募 (平成22年度)	平成24年度新規課題公募 (平成23年度)	平成25年度新規課題公募 (平成24年度)	平成26年度新規課題公募 (平成25年度)
地球環境研究総合推進費	1. プレ審査(資格・要件チェック) 2. 第一次審査(スクリーニング) プレ審査を通過した応募課題について、外部学識経験者及び環境省が一次審査を行い、ヒアリング対象課題を選定。 3. 第二次審査(ヒアリング) 外部学識経験者及び環境省が合同で審査を行い、採択課題候補を選定し、地球環境研究企画委員会に諮る。	1. プレ審査(資格・要件チェック) 2. 第一次審査(スクリーニング) プレ審査を通過した応募課題について、外部学識経験者等が応募書類を見て第一次審査を行い、応募数のおよそ半数まで応募課題を絞り込む。 3. 第二次審査(ヒアリング) 課題代表者によるプレゼンテーションに対して外部学識経験者等が審査を行い、採択課題候補を選定し、環境研究企画委員会に諮る。	1. プレ審査(資格・要件チェック) 2. 第一次審査(スクリーニング) プレ審査を通過した応募課題について、外部学識経験者等が書面にて審査を行う。 4. 第二次審査(ヒアリング) 課題代表者によるプレゼンテーションに対して外部学識経験者等が審査を行い、採択課題候補を選定し、外部学識経験者からなる環境研究企画委員会に諮る。	1. プレ審査(資格・要件チェック) 2. 第一次審査(スクリーニング) プレ審査を通過した応募課題について、外部学識経験者等が書面にて審査を行う。 4. 第二次審査(ヒアリング) 課題代表者によるプレゼンテーションに対して外部学識経験者等が審査を行い、採択課題候補を選定し、外部学識経験者からなる環境研究企画委員会に諮る。	1. プレ審査(資格・要件チェック) 2. 第一次審査(スクリーニング) プレ審査を通過した応募課題について、外部学識経験者等が書面にて審査を行う。 4. 第二次審査(ヒアリング) 課題代表者によるプレゼンテーションに対して外部学識経験者等が審査を行い、採択課題候補を選定し、外部学識経験者からなる環境研究企画委員会に諮る。
環境研究・技術開発推進費	1. 書面評価 応募書類をもとに資格・要件、研究開発の目的・目標、内容、計画等の観点から評価を行い、ヒアリング対象課題を選定。 2. ヒアリング評価 総合研究開発推進会議の6つの分科会においてヒアリングを行い、総合的に評価。	※6つの研究分科会に採択予算配分を行い、各研究分科会でその範囲内で採択候補課題を選定。	※予算を統合前の割合で委託費と補助金に配分。 委託費については、第1から第6の6つの研究分科会に採択予算配分を行い、各研究分科会でその範囲内で採択候補課題を選定。 補助金については、第7研究分科会における評価結果をもとに、予算の範囲内で採択候補課題を選定。	※7つの研究分科会での二次審査での評価結果を評価委員による偏りをできるだけ除くよう基準化した評価結果の順に応募課題を並べて、行政ニーズ(行政からの推薦)を勘案しつつ、採択課題候補を選定。その際に統合前の委託費と補助金の割合を勘案。	※7つの研究分科会での二次審査での評価結果を評価委員による偏りをできるだけ除くよう基準化した評価結果の順に応募課題を並べて、行政ニーズ(行政からの推薦)を勘案しつつ、採択課題候補を選定。
循環型社会形成科学研究費補助金	新規応募課題については、「循環型社会形成推進研究事業審査委員会」による研究計画書等での評価(一次審査)及びヒアリングでの評価(二次審査)の結果を踏まえて採択を決定。 継続応募課題については、研究計画書等により評価し、採否、交付額を決定。	新規応募課題については、「循環型社会形成推進研究事業審査委員会」による研究計画書等での評価(一次審査)及びヒアリングでの評価(二次審査)の結果を踏まえて採択を決定。 継続応募課題については、研究計画書等により評価し、採否、交付額を決定。			
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業	「次世代廃棄物処理技術基盤整備事業審査委員会」による実施計画書等での評価(一次審査)及びヒアリングでの評価(二次審査)の結果を踏まえて採択を決定。	「次世代廃棄物処理技術基盤整備事業審査委員会」による実施計画書等での評価(一次審査)及びヒアリングでの評価(二次審査)の結果を踏まえて採択を決定。			

I-6. 事前評価における評価項目

	平成22年度新規課題公募 (平成21年度)	平成23年度新規課題公募 (平成22年度)	平成24年度新規課題公募 (平成23年度)	平成25年度新規課題公募 (平成24年度)	平成26年度新規課題公募 (平成25年度)
地球環境研究総合推進費	事前審査の観点 ①地球環境研究としての科学的適切性 ②研究の構成、計画、予算などの実施面での適切性 ③環境政策における行政ニーズへの貢献	事前審査の観点 ①環境研究としての科学的適切性 ②研究の構成、計画、予算などの実施面での適切性 ③環境政策における行政ニーズへの貢献			
環境研究・技術開発推進費	事前評価の評価の観点として、研究開発の目的・目標、内容、計画等の観点を挙げている。	の3つの観点から総合的に評価。			
循環型社会形成科学研究費補助金	公募要領に「Ⅲ評価制度について」という項目を設けて、評価の種類(事前・中間・事後)毎に評価の項目を明示している。 ○事前評価(新規) 学術的必要性 社会的必要性 内容の独創性 計画の妥当性 実施能力 ○事前評価(継続) 学術的・社会的必要性 計画の妥当性 継続能力 目標の達成	公募要領に「Ⅲ評価制度について」という項目を設けて、評価の種類(事前・中間・事後)毎に評価の項目を明示している。 ○事前評価(新規) 学術的必要性 社会的必要性 内容の独創性 計画の妥当性 実施能力 ○事前評価(継続) 学術的・社会的必要性 計画の妥当性 継続能力 目標の達成	事前審査の観点 ①環境研究としての科学的適切性 ②研究の構成、計画、予算などの実施面での適切性 ③環境政策における行政ニーズへの貢献 の3つの観点から総合的に評価。	事前審査の観点 ①環境研究としての科学的適切性 ②研究の構成、計画、予算などの実施面での適切性 ③環境政策における行政ニーズへの貢献 の3つの観点から総合的に評価。 行政ニーズへの貢献を重点化。	事前審査の観点 ①必要性(行政ニーズへの適合性、科学的・技術的意義) ②効率性(研究体制・研究計画の妥当性) ③有効性(目標の達成可能性・期待値、成果の普及・貢献度等) の3つの観点から総合的に評価を実施。 行政ニーズへの貢献を重点化。
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業	公募要領に「Ⅲ評価制度について」という項目を設けて、評価の種類(事前・中間・事後)毎に評価の項目を明示している。 ○事前評価 技術開発の独創性 社会的必要性 経済性 計画の妥当性・実現可能性	公募要領に「Ⅲ評価制度について」という項目を設けて、評価の種類(事前・中間・事後)毎に評価の項目を明示している。 ○事前評価 技術開発の独創性 社会的必要性 経済性 計画の妥当性・実現可能性			

I-7. 新規課題の応募と採択

採択課題数(申請課題数)

	平成22年度新規採択課題 (平成21年度)	平成23年度新規採択課題 (平成22年度)	平成24年度新規採択課題 (平成23年度)	平成25年度新規採択課題 (平成24年度)	平成26年度新規採択課題 (平成25年度)
地球環境研究総合推進費	戦略的研究開発領域S-8 450百万円 地球環境問題対応型研究領域 13(61) 581百万円 第1研究分科会 3(15) 第2研究分科会 3(13) 第3研究分科会 4(19) 第4研究分科会 3(14) 革新型研究領域 71百万円 若手枠 6(13) 戦略FS 1(2)	戦略的研究開発領域S-9 374百万円 環境問題対応型研究領域 31(196) 1,454百万円 第1研究分科会 3(13) 225 (全球システム変動) 第2研究分科会 7(47) 316 (環境汚染) 第3研究分科会 7(51) 266 (リスク管理・健康リスク) 第4研究分科会 6(35) 263 (生態系保全と再生) 第5研究分科会 6(41) 249 (持続可能な社会・政策研究) 第6研究分科会 2(9) 134 (領域横断)	戦略的研究開発領域 S-10 287百万円 環境問題対応型・革新型等 (一般枠) 24(196) 540百万円 第1研究分科会 5(11) 154 第2研究分科会 5(44) 103 第3研究分科会 4(73) 85 第4研究分科会 4(32) 67 第5研究分科会 4(15) 92円 第6研究分科会 2(20) 40 環境問題対応型・革新型等 (復興枠) 19(53) 700百万円 第2研究分科会 8(25) 277 第3研究分科会 2(6) 68 第4研究分科会 3(9) 115 第5研究分科会 3(6) 136 第6研究分科会 3(8) 104	戦略的研究開発領域 S-11 200百万円 環境問題対応型・革新型等 (一般枠) 29(207) 645百万円 第1研究分科会 5(14) 94 第2研究分科会 5(54) 122 第3研究分科会 5(47) 123 第4研究分科会 6(53) 150 第5研究分科会 6(23) 144 第6研究分科会 2(16) 11 環境問題対応型・革新型等 (復興枠) 1(15) 39百万円 第2研究分科会 1(15) 39	戦略的研究開発領域 S-12 200百万円 S-13 150百万円 環境問題対応型・革新型等 全領域共通・領域横断部会 (第1部会) 7(34) 212 脱温暖化社会部会 (第2部会) 6(15) 278 自然共生型社会部会 (第4部会) 11(50) 382 安全が確保される社会部会 (第5部会) 16(81) 642
環境研究・技術開発推進費	大気都市環境 4(11) 53 水・土壌環境 6(39) 77 自然環境 4(17) 83 リスク管理 3(12) 51 健康リスク 7(36) 168 合計 23(115) 431百万円	革新型研究領域 131百万円 若手枠 13(49) 第1研究分科会 2(6) 24 第2研究分科会 4(13) 40 第3研究分科会 2(13) 19 第4研究分科会 2(10) 25 第5研究分科会 2(6) 19 第6研究分科会 1(1) 6	第7研究分科会 (循環型社会形成・ 次世代廃棄物処理技術) (一般枠) 26(101) 500百万円 (復興枠) 10(24) 280百万円	第7研究分科会 (循環型社会形成・ 次世代廃棄物処理技術) (一般枠) 12(110) 287百万円	
循環型社会形成科学研究費補助金	101課題 ※継続課題も応募すること になっているので、新規課題と 継続課題が分けられていない。	33 595百万円			循環型社会部会 (第3部会) 18(90) 326百万円
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業	5事業 ※継続課題も応募すること になっているので、新規課題と 継続課題が分けられていない。	9 532百万円	(一般枠) 4(6) 140百万円	(一般枠) 2(5) 85百万円	

Ⅱ. 実施課題の管理・評価・広報

Ⅱ-1 各年度の実施課題

全実施課題(新規課題)

	平成21年度実施課題	平成22年度実施課題	平成23年度実施課題	平成24年度実施課題	平成25年度実施課題
地球環境研究総合推進費	戦略的研究開発領域 S-4、S-5、S-6、S-7 1,076百万円 地球環境問題対応型研究領域 61(23) 2,597百万円 第1研究分科会 14(4) 593 第2研究分科会 10(6) 443 第3研究分科会 15(7) 667 第4研究分科会 17(6) 894 革新型研究領域 134百万円 革手枠 14(9)	戦略的研究開発領域 S-5、S-6、S-7、S-8 1,323百万円 環境問題対応型研究領域 115 3,601百万円 第1研究分科会 16(3) (全球システム変動) 第2研究分科会 36(8) (環境汚染) 第3研究分科会 20(8) (リスク管理・健康リスク) 第4研究分科会 24(8) (生態系保全と再生) 第5研究分科会 19(3) (持続可能な社会・政策研究) 革新型研究領域 23 190百万円 第1研究分科会 6(3) 第2研究分科会 5(2) 第3研究分科会 4(3) 第4研究分科会 7(4) 第5研究分科会 1(1)	戦略的研究開発領域 S-5、S-6、S-7、S-8、S-9 1,653百万円 環境問題対応型研究領域 109(31) 3,712百万円 第1研究分科会 10(3) 469 第2研究分科会 34(7) 1,060 第3研究分科会 25(7) 635 第4研究分科会 25(6) 907 第5研究分科会 13(6) 507 第6研究分科会(領域横断) 2(2) 134 革新型研究領域 27(13) 232百万円 第1研究分科会 5(2) 49 第2研究分科会 6(4) 49 第3研究分科会 6(2) 36 第4研究分科会 6(2) 61 第5研究分科会 3(2) 29 第6研究分科会 1(1) 6	戦略的研究開発領域 S-6、S-7、S-8、S-9、S-10 1,320百万円 環境問題対応型・革新型等 (一般枠) 103(24) 2,628百万円 第1研究分科会 13(5) 435 第2研究分科会 26(5) 618 第3研究分科会 25(4) 533 第4研究分科会 20(4) 538 第5研究分科会 14(4) 378 第6研究分科会 5(2) 152 環境問題対応型・革新型等 (復興枠) 19 702百万円 第2研究分科会 8(8) 277 第3研究分科会 2(2) 68 第4研究分科会 3(3) 115 第5研究分科会 3(3) 136 第6研究分科会 2(2) 106	戦略的研究開発領域 S-6、S-7、S-8、S-9、S-10、 S-11 1,504百万円 環境問題対応型・革新型等 (一般枠) ※復興枠からの移行分を含む。 87(29) 2,386百万円 第1研究部会 20(5) 517 第2研究部会 17(8) 527 第4研究部会 17(6) 459 第5研究部会 33(10) 886 環境問題対応型・革新型等 (復興枠) 14(1) 433百万円 第1研究部会 1(0) 7 第4研究分科会 3(0) 93 第5研究分科会 10(1) 333
環境研究・技術開発推進費	1,141百万円 大気都市環境 7(3) 水・土壌環境 14(5) 自然環境 8(5) リスク管理 8(3) 健康リスク 11(6) ナノテク枠 7(1) 合計 58(23)				
循環型社会形成科学研究費補助金	87(43) 1,681百万円	101(37) 1,599百万円	第7研究分科会(循環型・研究事業) 104(33) 1,671百万円	第7研究分科会(研究事業) (一般枠) 76(26) 1,307百万円 (復興枠) 10(10) 280百万円	第3研究部会(研究事業) (一般枠) 63(12) 1,149百万円 (復興枠) 9(0) 285百万円
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業	5(5) 90百万円	5(3) 97百万円	第7研究分科会(循環型・次世代事業) 9(9) 532百万円	第7研究分科会(次世代事業) (一般枠) 16(4) 256百万円	第3研究部会(次世代事業) (一般枠) 9(2) 206百万円

Ⅱ-4 プログラムオフィサー(PO)とその役割

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
地球環境研究総合推進費	<p>PO 6名</p> <ol style="list-style-type: none"> 各研究課題と研究費管理上の実務を理解し、業務を遂行 翌年度研究費について、研究計画と研究内容との齟齬などを確認 「アドバイザーボード会合」への出席と報告 研究の進捗状況の把握 中間評価結果の研究計画への反映についての指導・助言 終了研究成果報告書及びパンフレットの内容や記載項目等を確認 研究成果の発表・普及に関する情報を環境省に連絡。また、謝辞等での推進費への言及を確認 課題代表者等からの問い合わせに対応 研究進行上の問題点を環境省と協議するとともに、定期的に進捗状況を報告 必要に応じ海外の研究フィールドの現地調査を実施 	<p>PO 7名</p> <ol style="list-style-type: none"> 各研究課題と研究費管理上の実務を理解し、業務を遂行 翌年度研究費について、研究計画と研究内容との齟齬などを確認 「アドバイザーボード会合」への出席と報告 研究の進捗状況の把握 中間評価結果の研究計画への反映についての指導・助言 終了研究成果報告書及びパンフレットの内容や記載項目等を確認 研究成果の発表・普及に関する情報を環境省に連絡。また、謝辞等での推進費への言及を確認 課題代表者等からの問い合わせに対応 研究進行上の問題点を環境省と協議するとともに、定期的に進捗状況を報告 必要に応じ海外の研究フィールドの現地調査を実施 	<p>PO 9名</p> <ol style="list-style-type: none"> 各研究課題と研究費管理上の実務を理解し、業務を遂行 翌年度研究費について、研究計画と研究内容との齟齬などを確認 「アドバイザーボード会合」へ出席(第1～6分科会課題)及び現地調査(第7分科会課題)の実施と報告 研究の進捗状況の把握 中間評価結果の研究計画への反映についての指導・助言 事前・中間・事後評価等の評価委員の選定及び評価時における委員のコメントの確認・整理及び要約 終了研究成果報告書及びパンフレットの内容や記載項目等を確認 研究成果の発表・普及に関する情報を環境省に連絡。また、謝辞等での推進費への言及を確認 課題代表者等からの問い合わせに対応 研究進行上の問題点を環境省と協議するとともに、定期的に進捗状況を報告 必要に応じ海外の研究フィールドの現地調査を実施 定期的に環境省担当官と意見交換する場を設けて情報共有 環境研究企画委員会及び各研究分科会への出席 応募課題ごとの第1次審査(書面審査)担当審査委員の決定 成果発表会の発表課題を推薦 	<p>PO 9名</p> <ol style="list-style-type: none"> 各研究課題と研究費管理上の実務を理解し、業務を遂行 翌年度研究費について、研究計画と研究内容との齟齬などを確認 委託費の課題の「アドバイザーボード会合」へ出席と報告 補助金の課題の現地調査の実施と報告 課題代表者等からの問い合わせに対応 研究進行上での問題点や研究計画変更の必要性が明らかになったときは環境省と協議 書面評価を行う場合、研究課題ごとに担当評価委員を選定 研究分科会等への出席 書面評価及びヒアリングにおける委員コメントの確認及び整理 第2次審査(ヒアリング評価)における分科会意見(採択条件等)が、初年度研究計画に適切に反映されていることを確認 中間評価における委員コメントやアドバイザーボード会合等の結果が、次年度研究計画等に適切に反映されるよう指導・助言 終了研究成果報告書及びパンフレットの内容や記載項目等を確認 研究成果の発表・普及に関する情報を環境省に連絡。また、謝辞等での推進費への言及を確認 成果発表会の発表課題を推薦 推進費の運営に参考となる情報を収集し、推進費の運営に係る改善を提案 	<p>PO 8名</p> <ol style="list-style-type: none"> 各研究課題と研究費管理上の実務を理解し、業務を遂行 翌年度研究費について、研究計画と研究内容との齟齬などを確認 委託費の課題の「アドバイザーボード会合」へ出席と報告 補助金の課題の現地調査の実施と報告 課題代表者等からの問い合わせに対応 研究進行上での問題点や研究計画変更の必要性が明らかになったときは環境省と協議 書面評価を行う場合、研究課題ごとに担当評価委員を選定 研究分科会等への出席 書面評価及びヒアリングにおける委員コメントの確認及び整理 第2次審査(ヒアリング評価)における分科会意見(採択条件等)が、初年度研究計画に適切に反映されていることを確認 中間評価における委員コメントやアドバイザーボード会合等の結果が、次年度研究計画等に適切に反映されるよう指導・助言 終了研究成果報告書及びパンフレットの内容や記載項目等を確認 研究成果の発表・普及に関する情報を環境省に連絡。また、謝辞等での推進費への言及を確認 成果発表会の発表課題を推薦 推進費の運営に参考となる情報を収集し、推進費の運営に係る改善を提案
環境研究・技術開発推進費	<p>PO1名</p> <ol style="list-style-type: none"> 課題の進捗状況を把握し、必要に応じ現地調査を実施 評価委員の選定 事前・中間・事後・追跡評価委員会への出席と評価結果のとりまとめ 評価時の委員指摘事項指導・助言等 継続課題の次年度研究計画のチェック 応募書類の精査 採択候補課題の研究計画のチェック 評価内容・不採択理由についての申請者への対応 研究動向の把握 	<p>PO 7名</p> <ol style="list-style-type: none"> 各研究課題と研究費管理上の実務を理解し、業務を遂行 翌年度研究費について、研究計画と研究内容との齟齬などを確認 「アドバイザーボード会合」への出席と報告 研究の進捗状況の把握 中間評価結果の研究計画への反映についての指導・助言 終了研究成果報告書及びパンフレットの内容や記載項目等を確認 研究成果の発表・普及に関する情報を環境省に連絡。また、謝辞等での推進費への言及を確認 課題代表者等からの問い合わせに対応 研究進行上の問題点を環境省と協議するとともに、定期的に進捗状況を報告 必要に応じ海外の研究フィールドの現地調査を実施 	<p>PO 9名</p> <ol style="list-style-type: none"> 各研究課題と研究費管理上の実務を理解し、業務を遂行 翌年度研究費について、研究計画と研究内容との齟齬などを確認 「アドバイザーボード会合」へ出席(第1～6分科会課題)及び現地調査(第7分科会課題)の実施と報告 研究の進捗状況の把握 中間評価結果の研究計画への反映についての指導・助言 事前・中間・事後評価等の評価委員の選定及び評価時における委員のコメントの確認・整理及び要約 終了研究成果報告書及びパンフレットの内容や記載項目等を確認 研究成果の発表・普及に関する情報を環境省に連絡。また、謝辞等での推進費への言及を確認 課題代表者等からの問い合わせに対応 研究進行上の問題点を環境省と協議するとともに、定期的に進捗状況を報告 必要に応じ海外の研究フィールドの現地調査を実施 定期的に環境省担当官と意見交換する場を設けて情報共有 環境研究企画委員会及び各研究分科会への出席 応募課題ごとの第1次審査(書面審査)担当審査委員の決定 成果発表会の発表課題を推薦 	<p>PO 9名</p> <ol style="list-style-type: none"> 各研究課題と研究費管理上の実務を理解し、業務を遂行 翌年度研究費について、研究計画と研究内容との齟齬などを確認 委託費の課題の「アドバイザーボード会合」へ出席と報告 補助金の課題の現地調査の実施と報告 課題代表者等からの問い合わせに対応 研究進行上での問題点や研究計画変更の必要性が明らかになったときは環境省と協議 書面評価を行う場合、研究課題ごとに担当評価委員を選定 研究分科会等への出席 書面評価及びヒアリングにおける委員コメントの確認及び整理 第2次審査(ヒアリング評価)における分科会意見(採択条件等)が、初年度研究計画に適切に反映されていることを確認 中間評価における委員コメントやアドバイザーボード会合等の結果が、次年度研究計画等に適切に反映されるよう指導・助言 終了研究成果報告書及びパンフレットの内容や記載項目等を確認 研究成果の発表・普及に関する情報を環境省に連絡。また、謝辞等での推進費への言及を確認 成果発表会の発表課題を推薦 推進費の運営に参考となる情報を収集し、推進費の運営に係る改善を提案 	<p>PO 8名</p> <ol style="list-style-type: none"> 各研究課題と研究費管理上の実務を理解し、業務を遂行 翌年度研究費について、研究計画と研究内容との齟齬などを確認 委託費の課題の「アドバイザーボード会合」へ出席と報告 補助金の課題の現地調査の実施と報告 課題代表者等からの問い合わせに対応 研究進行上での問題点や研究計画変更の必要性が明らかになったときは環境省と協議 書面評価を行う場合、研究課題ごとに担当評価委員を選定 研究分科会等への出席 書面評価及びヒアリングにおける委員コメントの確認及び整理 第2次審査(ヒアリング評価)における分科会意見(採択条件等)が、初年度研究計画に適切に反映されていることを確認 中間評価における委員コメントやアドバイザーボード会合等の結果が、次年度研究計画等に適切に反映されるよう指導・助言 終了研究成果報告書及びパンフレットの内容や記載項目等を確認 研究成果の発表・普及に関する情報を環境省に連絡。また、謝辞等での推進費への言及を確認 成果発表会の発表課題を推薦 推進費の運営に参考となる情報を収集し、推進費の運営に係る改善を提案
循環型社会形成科学研究費補助金	<p>行政の担当者(廃棄物対策課)がPOの役割</p>	<p>行政の担当者(廃棄物対策課)がPOの役割</p>			
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業					

II-5 広報活動(研究成果)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
地球環境研究総合推進費	地球環境研究総合推進費のパンフレット(和文・英文)を制作・配布。(全実施課題の概要を記載) 戦略的研究開発領域の研究課題については、それぞれ一般向けのシンポジウムを開催。 「地球環境研究総合推進費ホームページ」を運営。	地球環境研究総合推進費のパンフレット(和文・英文)を制作・配布。(全実施課題の概要を記載) 戦略的研究開発領域の研究課題については、それぞれ一般向けのシンポジウムを開催。	地球環境研究総合推進費のパンフレット(和文・英文)を制作・配布。(戦略的研究開発領域は全課題。環境問題対応型研究領域については、各分野の代表的課題のみを掲載) 環境研究総合推進費研究成果発表会(10月)を開催(循環型を除く。)	地球環境研究総合推進費のパンフレット(和文・英文)を制作・配布。(戦略的研究開発領域は全課題。環境問題対応型研究領域については、各分野の代表的課題のみを掲載) 環境研究総合推進費研究成果発表会(10月)を開催(循環型を除く。)	地球環境研究総合推進費のパンフレット(和文・英文)を制作・配布。(戦略的研究開発領域は全課題。環境問題対応型研究領域については、各分野の代表的課題のみを掲載) 環境研究総合推進費研究成果発表会(10月)を開催(循環型を含む。)
環境研究・技術開発推進費	環境研究・技術開発推進費研究成果発表会(3月)を開催。	「地球環境研究総合推進費ホームページ」をもとに、「環境研究総合推進費ホームページ」を立ち上げ、運用。	戦略的研究開発領域の研究課題については、それぞれ一般向けのシンポジウムを開催。 「環境研究総合推進費ホームページ」を運用。循環型社会形成科学研究費補助金等を統合。	戦略的研究開発領域の研究課題については、それぞれ一般向けのシンポジウムを開催。 「環境研究総合推進費ホームページ」を運用。	戦略的研究開発領域の研究課題については、それぞれ一般向けのシンポジウムを開催。 「環境研究総合推進費ホームページ」を運用。
循環型社会形成科学研究費補助金	全国3ヶ所において成果発表会を実施。	全国3ヶ所において成果発表会を実施。	環境研究総合推進費研究成果発表会とは別途、全国3ヶ所において成果発表会を実施。	環境研究総合推進費研究成果発表会とは別途、全国3ヶ所において成果発表会を実施。	環境研究総合推進費研究成果発表会とは別途、全国3ヶ所において成果発表会を実施。
次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業	環境省の「廃棄物処理技術情報」ホームページの中で「廃棄物処理等科学研究費補助金」のページを運用。	環境省の「廃棄物処理技術情報」ホームページの中で「廃棄物処理等科学研究費補助金」のページを運用。			